

# よしの かい し 吉野コスモス会からのお知らせ

## ●● 吉野コスモス会で一緒に働きませんか? ●●

現在、吉野コスモス会では、パート職員(送迎)、正職員(相談・支援員)の求人募集をおこなっています。

### ☆職種/仕事内容

[1] 送迎(パート)：当会日中活動(障がい福祉サービス)を利用される方の事業所・自宅最寄り場所への送迎

[2] 正職員：障がいある方の日常生活における相談、生活・就労支援、福祉の情報提供等

### ☆給与

[1] 時給 866円～1,000円

[2] 月給 150,700円～226,600円 ※経験資格等により異なる

### ☆勤務時間・曜日

[1] ①7:00～9:30 ②15:00～18:00の間の時間 ※週3～5回程度

※①②両方の勤務可能な方、採用面で優遇

[2] 基本9:00～18:00 ※配属部署により変更あり

地域で生活する障がいある方々に真正面から向き合える人材を求めています。詳細等につきましては、法人本部(担当：竹林)までご連絡ください。(0747-64-8870)

## ●● 後援会からのお知らせ ●●

吉野コスモス会 後援会は、会員を募集しています。コスモス会の活動に共感し、活動を盛り上げて頂ける方など大募集しております。詳しくは法人本部(担当：竹林)までご連絡ください。

### ☆特典☆

○機関誌「コスモス便」(年4回)と当事者中心でつくる「香陽来復通信」をお届けします。

○吉野コスモス会イベント情報をお届けします。

会費：1口1,000円 ※何口でもご入会いただけます。当会事務所でも入会可能です。

郵便振替口座：特定非営利活動法人 吉野コスモス会后援会 00910-3-225609

### 【家族会】

11月の家族会では統合失調症の症状である幻聴の体験ができるVRの体験会の実施を予定しています。ぜひご興味のある方は下記までお問い合わせください。

○対象者：障がい種別に関わらず、障がいある方のご家族

○毎月第3木曜日13:30～のどか会議室にて(変更の場合がありますのでお問い合わせください)

○連絡窓口：0747-53-2215 家族会秋桜事務局

(地域活動支援センターのどか 担当：小南/辻本泰)

☆新会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

☆活動スケジュールについては、吉野コスモス会ホームページに掲載しています。



## \*コスモス便\*

<NO.33>  
2021.10

特定非営利活動法人 吉野コスモス会

〒638-0821 奈良県吉野郡大淀町下湊854-1

TEL/FAX：0747-68-8870

E-mail kosumosukai07@royal.ocn.ne.jp

ホームページ http://yoshino-cosmos.ivory.ne.jp

## コラム【福祉ってなんだろう?】

「福」も「祉」も、「幸福」や「しあわせ」を意味する漢字になります。「福祉」は英語にすると、「welfare」という言葉で「well=よく」「fare=生きる」という言葉が合わさって「よりよく生きる」という意味になるそうです。

「しあわせ」や「よりよく生きる」とは、とても抽象的で漠然としていますが、例えば自然と気の合う友だちと仲良くなったり、楽しい遊びをしたり、安心できるおうちでごはんを食べたり、眠ったりと当たり前に行っていることが、その人らしい「しあわせ」や「よりよく生きる」につながるのだと思います。

このことから、福祉に従事する支援者は、「その人が、その人らしく、よりよく生き、しあわせになる」ために、その人の声に耳を傾け、一緒に考え、その人自身が様々な選択をできるようにすることがとても重要なお仕事だと言えます。

しかし、実際は一生懸命支援しようとするあまり\*パターナリズム(温情主義/過度なおせっかい)に陥り、本人が自己選択できない状況を作り、それに気づかず自己満足な支援をしているケースも多々見られます。支援者はパターナリズムに陥っていることに気づきにくいので、職員間で意見交換しながら進めなければなりません。

「福祉」とは、その人がその人にとっての「しあわせ」や「よりよい生きかた」をするなかで、必要であるから支えになったり、サービスを提供していることを忘れないようにしていきたいと思う今日この頃です。

\*パターナリズム(温情主義/過度なおせっかい)  
強い立場にいる者が弱い立場の利益になると判断して、考えを押し付け介入・強要すること。日本では父親的温情主義と言われ、父親が子供の利益になると考えて、父親の考えを押し付けると解釈されます。

## 新人職員紹介

はじめまして、10月1日から吉野コスモス会で一緒に働かせて頂く事になりました。中谷暢宏と申します。慣れない土地でわからないことばかりで、先輩職員の皆様やメンバーの皆様に助けて頂く事ばかりですが、少しでも早く仕事を覚え、皆様に「あの人が入ってきて良かった」と思って頂けるよう、頑張りますので、これからよろしくお願ひします。コスモス会に関する皆様と一緒に、幸せを感じられるような日をたくさん作っていきたく思います。







# かくぶもん ほうこく 各部門からご報告



## ういる工房 (就労継続支援B型)

今年もおせちの製造と販売を行います。「おせち」の製造販売は、今年で7周年となります。ここまで続けてこられたのは、これまで多くの皆様にご購入いただき商品を育ててもらえたからだと思えます。心から感謝しております。今年のおせちも今まで以上に精一杯心を込めて丁寧に作り上げますのでよろしくお願いたします。



## 吉陽館 (就労継続支援B型) \* 改修工事が終わりました。



8/28~9/12の短い期間で事業所を開所しながらの改修工事でしたが、ものすごくいい感じになりました。使用できなかった2Fのトイレや面談すると声が漏れる面談室、息が詰まりそうな事務所が生まれ変わりました！何よりも2Fのサロンが3部屋使用できるようになり、お昼休みの休憩時にのんびり過ごすこともできるようになりました。玄関にはインターホンが設置され、事務所は2Fになり広くなりました。少しの変化？がメンバーにとって良い刺激や安心感に繋がります。吉陽館が良い居場所になればいいなあと思っています。お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください！



## 生活支援センターのどか (市町村委託事業)



最近、Zoomを使っての支援会議や研修会を受ける機会が増えました。参加された人からは、反応が見え難い難しさを聞くことがあります。そういった会議や研修は、他者と学び、一緒に考えチームとして一丸になる、あるいは他機関と繋がる役割を担っている一面もあります。ですが対面ではない事からその効果も対面時より小さくなってしまっているのではないかと感じます。マスクを付ける事で、表情変化が乏しくなり、画面越しでどこか他人感を感じてしまうからです。時代とともに変化に慣れていく事は必要な事であるとはわかっているのですが、なかなか割り切れなく思います。前の様に対面で話せる機会が早く来て欲しいと願っています。

## 吉野コスモス会ハウス (共同生活援助)

吉野コスモス会ハウスは、つどいハウス・めぐみハウス・ひかりハウスと3か所のグループホームがあります。グループホームの名称は入居者さんがつけてくれました。今年の秋、つどいハウスから1人の入居者さんが卒業されました。ご自身の体調のこと・これからの生活のこと等いろいろ悩んだ末、次の場所への移行を決定されました。寂しくはなりますが、移行後も度々ご本人から連絡があり、お元気そうな声が聞けて安心しています。



## 地域活動支援センターのどか (市町村委託事業)

毎年秋に開催しているキャンピングイベントについて、今年度もコロナ禍の影響により難しく、それに代わるイベントとして地活のどかでは、初企画としてのどか文化祭を10月19日から10月23日までの期間に開催しました。文化祭らしく自分で作成した作品の展示や一芸披露の中から、入賞者を決めたり、昼食会で縁日風の特別メニューを食べたりしました。コロナ禍は今後も続きますが、その中でも工夫して楽しめるイベントを開催しようと思います。



## ほっとはーと南和



ほっとはーと南和では来年3月の大規模イベント開催に向けて、現在さまざまな準備を進めています。参加して頂いた人が楽しんで障がい理解に触れられるきっかけになるように月に1回、定例会で委員が集まりポッチャ体験・事業所紹介・障がい疑似体験・フードコーナーの4つのグループに分かれて、コロナ禍の中でもどのように多くの皆さんにイベントに参加して頂けるか、意見を出し合いながら検討しています。今年の夏に開催された東京パラリンピックでは、ポッチャ日本代表の杉村選手が個人の部で金メダルを獲得するなど、多くの注目を浴びたポッチャを皆さんに楽しんでいただけるイベントにしたいと思っています。皆さん、楽しみにお待ちください。

## 本部

全国的なコロナウイルス感染状況は、9月より大幅に減少、奈良県でも感染者数1日平均10名前後まで減少しています。入院病床占有率も10%未満となり、医療の逼迫・保健所の機能も改善してきています。ワクチン接種が全国的に進んだことが減少の要因とされていますが、10月からは全国に発出されていたすべての緊急事態宣言等が解除となり、社会・経済活動においても徐々に日常を取り戻しつつあるため、ゆるみにもつながりかねず注意が必要です。感染症のリスクをゼロにはできず、コロナウイルスとの戦いは、長期にわたる可能性があるため、当会では「利用者・家族・職員、またその家族の命を守る」ことを目標とし、改めて基本的な感染予防対策の徹底とタイムリーな情報提供で注意喚起を心掛けていきます。これからも、皆様の温かいご支援のほど、宜しくお願申し上げます。